

えこ & びーす

2011

Actio

12

定価 525 円 (税込)

原発再稼働は 許されない



私たちの税金で放射能を海外に拡散しないで！

「原発輸出中止」と「ODAによる途上国への被災地の農水加工品の提供の中止」申入れ

文・写真＝戸倉由紀枝

福島第一原発事故後、福島県だけでなく県外の農水産物から暫定基準値以上の量の放射線物質が検出されている。暫定基準値以下でも放射性物質が食品に含まれている可能性はあ

る。仮に微量の放射性物質であっても、放射性物質はできるだけ人体に摂取しない方がよい。そもそも日本の暫定基準値自体国内外におり、給食の食材に被災地産のものを使ってほしくないと、全国で母親たちから声が挙がっている。日本政府はこの暫定基準値の見直しを始めており、来年4月頃をめどに厳しい基準値を設定する予定だ。それなのに、外務省は現在の暫定基準値以下であれば大丈夫だと言っているのは無責任ではないか。

経済産業省前で女性たちが脱原発を訴えて座り込みをする。11月4日、「STOP！浜岡原発」と「SHUT OUT」の呼びかけで、外務省と内閣府にこのODA案件の中止を求める要望書を出した。

外務省は、第三次補正予算案170億円の内、50億円をODA（政府開発援助）の一環として、東日本大震災の被災地（福島、宮城、岩手3県が中心）で加工されたサバ缶など水産品を中心とする食糧をWFP（国連世界食糧計画）を通じて途上国に提供することを計画している。「食品に含まれる放射性物質は『日本の暫定基準値以下である』との検査証明書を日本政府が添付するので安全性は問題ない」というのが、外務省の見解だ。第三次補正予算案が成立すれば、このODA案件は実施される。

仮に微量の放射性物質であっても、放射性物質はできるだけ人体に摂取しない方がよい。そもそも日本の暫定基準値自体国内外におり、給食の食材に被災地産のものを使ってほしくないと、全国で母親たちから声が挙がっている。日本政府はこの暫定基準値の見直しを始めており、来年4月頃をめどに厳しい基準値を設定する予定だ。それなのに、外務省は現在の暫定基準値以下であれば大丈夫だと言っているのは無責任ではないか。

今なお、アジア、ヨーロッパのEUなど40カ国以上で、放射能汚染を心配し、日本からの食品輸入を禁止または規制をしている（2011年11月4日時点）。こうした措置に対して、外務省はこのODA案件は「風評被害克服にも資する」と主張している。要は私たち市民の税金を使って、国内外で売れない被災地の食品を賄い国に押し付けるという話なのだ。そんな失礼な話であるだろうか？

このODA案件中止を求める要望書の賛同者を、メッセージと伴にインターネットで募ったところ、「日本人として恥ずかしい」というメッセージが多数寄せられた。

「アフリカの多くの国には放射線量の基準値などないし、専門家もいない。そんな国に、放射能で汚染された食品を送ってほしくないし、何よりもこの支援は正しくない」と、ケニア人の友人は驚いていた。

11月4日の申入れ当日、私はまず経産省前の女性たちの座り込みに参加した。画家の増山麗奈さんは、「私たちの税金で放射能を拡散しないで！ 愛を拡散して下さい」というテーマで絵を描いた。

その絵には「愛を食わせたい」と書かれている。女性五人と二歳の女の子で、この絵と野田首相玄葉外務大臣宛の要望書を持って、内閣府と外務省に申し入れに行き、女性たちの想いを伝えた。

私たちの税金で放射能を海外に広げてはならない。このODA案件は、私たち市民の良心で何としても止めたい。今後は、WFPにも要望書を提出する予定だ。この記事を読んで、このODA案件はおかしいと思ったならば、ぜひ外務省、WFP日本事務所にその気持ちを伝えてほしい。



11月4日東京から全国各地の女性たちが東京・霞ヶ関国議館前で

11月4日の申入れ当日、私はまず経産省前の女性たちの座り込みに参加した。画家の増山麗奈さんは、「私たちの税金で放射能を拡散しないで！ 愛を拡散して下さい」というテーマで絵を描いた。その絵には「愛を食わせたい」と書かれている。女性五人と二歳の女の子で、この絵と野田首相玄葉外務大臣宛の要望書を持って、内閣府と外務省に申し入れに行き、女性たちの想いを伝えた。

【戸倉由紀枝】STOP！浜岡原発代表。静岡県在住（浜岡原発20キロ圏内）。元国際協力NGO職員、ルワンダ、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東京で緊急・復興支援業務に従事。3.11以降、浜岡原発の運転中止・廃炉を求め、脱原発活動を開始。STOP！浜岡原発 <http://stophamakanuclear.jp/>



内閣府への申入れで、女性達の想いを伝える座り込み参加者の谷田部裕子さん